

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜聾学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月8日(月) 9:30～11:30
- 3 開催場所 岐阜聾学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	村瀬 忍	岐阜大学 教授
副 会 長	尾木 大	株式会社岐阜セラック製造所 代表取締役社長
委 員	岩田 順治	岐阜市社会福祉協議会加納東支部 主事
	山村 基翔	岐阜県聴覚障害者協会 理事
	棚原 美歌	加納東地区民生委員児童委員協議会・主任児童委員
	吉永 康昭	加納幼稚園 園長 (欠席)
	笹川 サヤカ	本校PTA会長
	佐藤 悠理	本校同窓会 理事 (欠席)

学 校 側	長瀬 さゆり	校長
	松本 深香	教頭
	廣瀬 めぐみ	事務部長
	洞口 美樹	幼稚部主事
	篠田 智恵	小学部主事
	河田 覚	中学部主事
	久富 喜江	高等部主事
	樋口 さおり	教務主任
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 校長挨拶
 - ・学校運営協議会の設置及び運営について
 - (2) 学校運営協議会委員の委嘱
 - (3) 自己紹介
 - (4) 会長及び副会長の選出
 - (5) 授業参観
 - (6) 学校経営計画について
 - ・本校の教育目標、今年度の方針、学校経営の重点について
 - ・各部の課題と具体的な取組みについて
 - (7) 作業製品販売の価格について
 - (8) 意見交換

6 意見交換

＜教育内容・学びへの評価＞

意見 1：生徒数が少ないことを活かし、対話を重視した丁寧な指導が行われている点が良い。

意見 2：教員が一方的に教えるのではなく、生徒同士や教師とのやり取りを通して学ぶ姿が良い。

＜言葉・コミュニケーションの育成＞

意見 1：「言葉を育てる」という学校方針に合った実践がなされている。

意見 2：聴覚障害があっても、互いに声を掛け合う姿が見られた点が印象的である。こうした日常的な積み重ねが、防災など非常時にも役立つ。

＜防災・安全面への指摘＞

意見 1：寄宿舎（寮）での災害時対応について、疑問・課題提起。夜間の避難方法や聴覚障害をもつ生徒への情報伝達方法など、視覚的にわかる避難指示（色・表示など）の徹底の必要性がある。

意見 2：階段の動線（上り・下り）の表示等、衝突防止のための安全対策を見直すとよい。がないため、衝突防止のためにも必要である。

意見 3：校内の防犯カメラ設置をするとよいのではないか。（不審者対策強化のために）

＜地域連携・広報への提案＞

意見 1：本校の存在や活動を地域に知ってもらうための方法として、地域イベント（公民館の文化祭など）での展示・販売をすることもできる。

意見 2：生徒作品を活用した PR が有効である。

＜作業製品・ものづくりへの評価＞

意見 1：とても上手で、生徒の技術力や表現力の高さを感じる。

意見 2：価格が安く感じるくらい、価値の高い作品である。

＜生徒理解・教員の指導等について＞

意見 1：生徒の人数が少ない分、個人差が大きいことへの対応が重要である。

意見 2：支援が必要な子に焦点が当たり過ぎると、他の生徒の自己肯定感が下がる可能性がある。バランスの取れた指導が重要である。

意見 3：教職員の専門性だけでなく、人としての魅力（ロールモデル）も重要である。「この先生のようにになりたい」と思える存在が、子どもの成長に影響する。

＜保護者・家庭との連携＞

意見 1：寄宿舎生活の生徒について、家庭との連携をより大切にしてほしい。

7 会議のまとめ

- ・第 1 回学校運営協議会では、委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・今年度重点的に取り組む内容や学校全体の運営については、委員の意見や学校評価をもとに、校内で見直しや検討を行って取り組む。
- ・幼児児童生徒一人一人へのバランスのある支援に努めるとともに、魅力のある教員であるよう、今後も指導力等の向上に努める。
- ・本校の存在や活動について、外部との連携も図りながら、地域へ発信する。
- ・防災、安全面については改善点があるため、今後校内で検討する。
- ・作業製品について、すべての製品の価格設定（1000～9000円程度）の承認が得られた。